資料５

尼崎 21 世紀の森構想推進に向けた環境学習のあり方の検討について

１．目的と今後の方向性

■森構想エリア内における環境学習のあり方検討の目的（令和４年度第２回資料より）

尼崎の森中央緑地、尼崎運河、魚つり公園など、森構想エリアの各所において環境学習が行われている。また、森構想エリア内の企業やその他団体も環境学習に取り組んでいる。しかし、その対象や目的は各活動で様々であるため、それらを明確化し十分な連携や効果を生むことを目的に「今後の森構想エリア内の環境学習のあり方」を検討する。

その上で、森構想エリアである尼崎南部地域を、環境学習が集中する先進的な地域としてアピールしていくことを目指す。

■尼崎 21 世紀の森構想推進に向けた環境学習のあり方の方向性

- 森、運河、工場といった特色ある環境を活かして、市民団体・企業・行政といった様々な主体が環境学習を実施する先進的な地域であることを活かす
- 環境学習フォーラムや企業版森の会議での実践を活かして、環境学習というテーマを通じて、企業メリットと森構想の推進を両立させながら、企業・行政・各種団体間の連携により森構想の推進に寄与する新たな取組みの展開へとつなげることを目指す

２．これまで・今後の検討の流れ

令和５年度　基礎調査
森構想エリア内における環境学習の現状把握

■森構想エリア内における環境学習の現状把握
（基礎調査、環境学習に関わる団体・企業へのアンケート調査行政担当者へのヒアリング調査、課題整理）

■森構想エリア内における環境学習の特徴の把握

★森構想エリアでの環境学習を推進していくための課題
- 課題①　サポート体制やしくみの充実
- 課題②　繋がる場の創出
- 課題③　情報の発信・共有

★森構想エリア内における環境学習への参画の可能性

令和６年度　ニーズ把握およびあり方の検討
森構想推進に向けた環境学習のあり方とりまとめ

■環境学習の受け手側のニーズ調査
- ①尼崎市内外の学校と関わりのある環境学習の実践者へのヒアリング
- ②環境学習フォーラム参加者へのアンケート（感想、ニーズ等）

■企業等参画の可能性について
- ③企業版森の会議および環境学習フォーラムの実施を通じた企業参画の可能性

今後の森構想推進に向けた環境学習のあり方の方向性
第１回協議会【10 月 22 日】協議事項

受け手側のニーズに関するヒアリング調査

今後の森構想推進に向けた環境学習のあり方とりまとめ
第２回協議会【２月頃】協議事項

令和７年度以降

森構想推進に向けた環境学習の展開

■尼崎運河クルーズ＆環境学習フェスティバルの開催
○団体・企業の出展による環境学習の PR
○尼崎運河クルーズ社会実験の実施

継続

■環境学習フォーラム【8/9（金）】
○森構想エリア内での環境学習の取組等を情報発信

■運河イベント【10/5（土）】
○北堀キャナルベースを活用した賑わい創出イベントの開催

参画　　参加（展示のみ）

■企業版森の会議の開催【5 月から 12 月まで毎月１回開催】
○企業・団体間での情報共有・意見交換の場・機会の創出、連携促進
○専門家や経験者による支援等

企業版森の会議
※森構想にかかわる様々なテーマで継続

■尼崎 21 世紀の森 SDGs 賞の贈呈
■尼崎 21 世紀の森 SDGs ガイドブックへの追記

■尼崎 21 世紀の森 SDGs 賞の贈呈
■尼崎 21 世紀の森 SDGs ガイドブックの活用、追記

継続実施

令和６年度森構想エリア内における環境学習のあり方とりまとめに向けた環境学習の受け手側のニーズ把握について

1. 目的

尼崎 21 世紀の森構想エリアの魅力発信に向け、環境学習の受け手側のニーズを把握する。

2. 調査方法

調査①　環境学習フォーラム参加者へのアンケート（感想、ニーズ等）

環境学習フォーラムの参加者を対象に、興味のある環境学習の分野について、年齢層に応じたアンケート調査を実施。

調査②　尼崎市内外の学校と関わりのある環境学習の実践者へのヒアリング

尼崎市内外の学校等と連携し、環境学習の提供側として実践される中で、環境学習に関する課題や要望等について各学校担当者等から直接お聞きになっている環境学習の実践者を対象にヒアリングを実施。

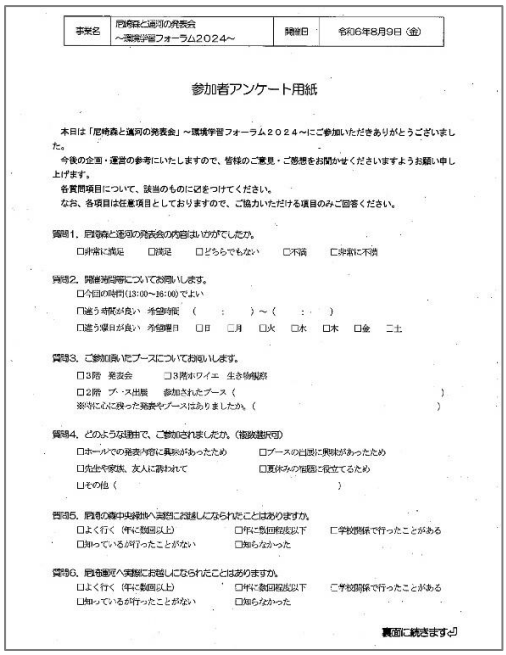
	対象者	目的
調査① アンケート	環境学習フォーラムの参加者	環境学習の受け手側がどのような分野に興味・関心があるかを把握
	環境学習フォーラムに参加している子ども	
調査② ヒアリング	NPO 法人あまがさき環境オープンカレッジ	尼崎市及びその周辺地域の学校担当者が感じる課題や要望の全体像を把握
	尼崎の森中央緑地パークセンター	
	NPO法人 人と自然とまちづくりと	

3. 調査概要及び結果

■調査①　環境学習フォーラム参加者へのアンケート（感想、ニーズ等）

1）調査概要

年齢層に応じて、「A. 用紙によるアンケート」及び「B. シール式アンケート」の２種類の方法で実施した。

	Ａ．用紙によるアンケート	Ｂ．シール式アンケート
対象者	環境学習フォーラムの参加者	環境学習フォーラムに参加している子ども
方法	・環境学習フォーラムに関するアンケート用紙に、興味・関心のある環境学習のテーマに関する質問項目を追加した。（資料２を参照） ・受付時にパンフレットと同時配布し、回収箱にて回収した。 	・シールアンケートのパネル（A1 サイズ）を環境学習フォーラムの会場に設置し、興味のある環境学習のテーマにシールを貼ってもらった。 ・年代（未就学児、小学生、中学生、高校生以上）でシールの色を分けた。 ・会場にパネルを設置し、随時回答可能とし、適宜、声掛けをして回答を促した。

事業名：尼崎森と運河の発表会 ～環境学習フォーラム2024～　開催日：令和6年8月9日（金）

参加者アンケート用紙

本日は「尼崎森と運河の発表会」～環境学習フォーラム２０２４～にご参加いただきありがとうございました。
今後の企画・運営の参考にいたしますので、皆様のご意見・ご感想をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。
各質問項目について、該当のものに☑をつけてください。
なお、各項目は任意項目としておりますので、ご協力いただける項目のみご回答ください。

質問1. 尼崎森と運河の発表会の内容はいかがでしたか。
□非常に満足　□満足　□どちらでもない　□不満　□非常に不満

質問2. 開催時期についてお聞いします。
□今回の時間(13:00～16:00)でよい
□違う時間が良い　希望時間（　：　）～（　：　）
□違う曜日が良い　希望曜日　□日　□月　□火　□水　□木　□金　□土

質問3. ご参加頂いたブースについてお聞いします。
□3階　発表会　□3階ホワイエ　生き物展示
□2階　ブース出展　参加されたブース（　　）
※特に心に残った発表やブースはありましたか。（　　）

質問4. どのような理由で、ご参加されましたか。（複数選択可）
□ホールでの発表内容に興味があったため　□ブースの出展に興味があったため
□先生や家族、友人に誘われて　□夏休みの宿題に役立てるため
□その他（　　）

質問5. 尼崎の森中央緑地へ実際に足を運んでみられたことはありますか。
□よく行く（年に数回以上）　□年に数回程度以下　□学校関係で行ったことがある
□知っているが行ったことがない　□知らなかった

質問6. 尼崎運河へ実際にお出かけになられたことはありますか。
□よく行く（年に数回以上）　□年に数回程度以下　□学校関係で行ったことがある
□知っているが行ったことがない　□知らなかった

裏面に続きます↵

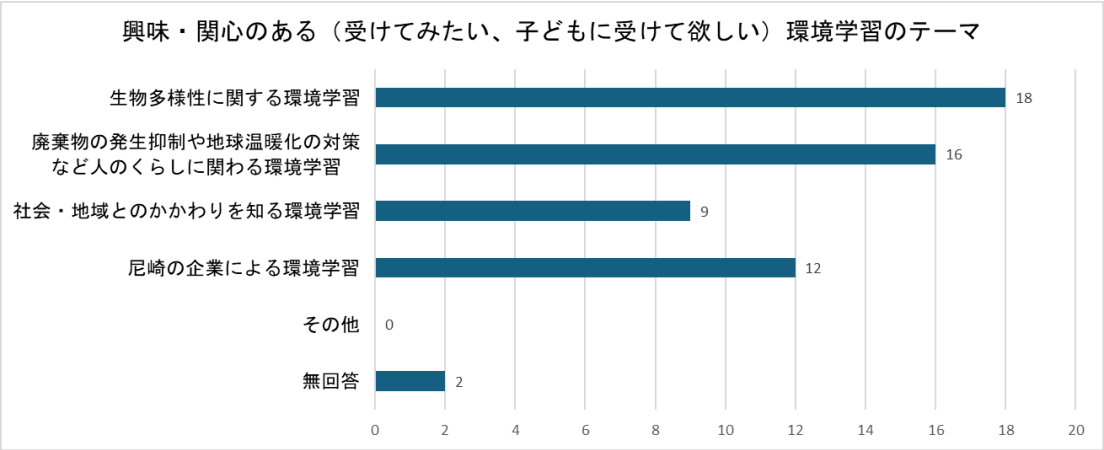
各アンケートの質問項目については下記の表の通りである。

A. シール式アンケートでは、B. 用紙によるアンケートの内容を細かく分け、易しい言葉に置き換えた。

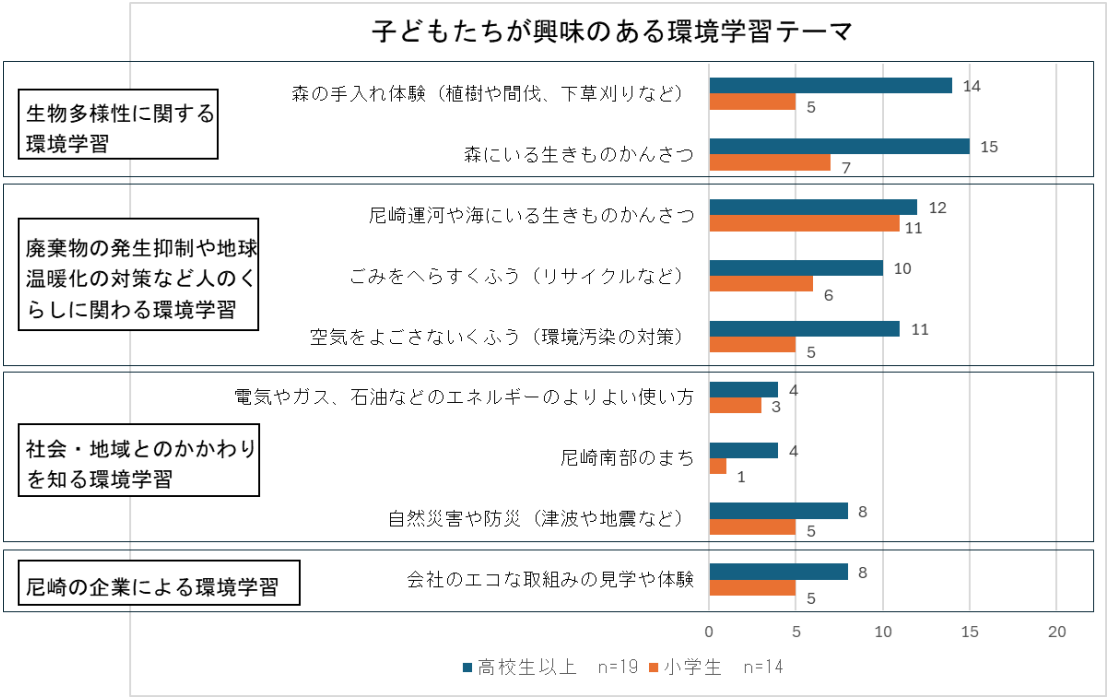
	Ａ．用紙によるアンケート	Ｂ．シール式アンケート
質問	以下のうち興味･関心のある環境学習のテーマについて教えてください。（複数回答可）	やってみたい、聞いてみたい、知りたいことにシールをはろう！（複数回答可）
選択肢	生物多様性に関する環境学習 （例：森の手入れ体験/森にいる生きもの学習/尼崎運河や海にいる生きもの学習）	森の手入れ体験 （植樹や間伐、下草刈りなど）
		森にいる生きものかんさつ
		尼崎運河や海にいる生きものかんさつ
	廃棄物の発生抑制や地球温暖化の対策など人のくらしに関わる環境学習 （例：ごみの減量化・リサイクル/環境汚染の対策/エネルギー学習）	ごみをへらすくふう（リサイクルなど）
		空気をよごさないくふう （環境汚染の対策）
		電気やガス、石油などのエネルギーのよりよい使い方
	社会・地域とのかかわりを知る環境学習 （例:尼崎臨海地域のまちづくりの理解を深めるまち歩き、自然災害についての学習）	尼崎南部のまち
		自然災害や防災 （津波や地震など）
	尼崎の企業による環境学習 （例:企業の環境に関する取り組みの紹介やワークショップ、施設見学など）	会社のエコな取組みの見学や体験
	その他	

2）調査結果

Ａ．用紙によるアンケート（回答数：28 件）



Ｂ．シール式アンケート（回答者数：小学生 14 名、高校生以上 19 名）



■調査②　尼崎市内外の学校と関わりのある環境学習の実践者へのヒアリング

1）調査概要

令和 5 年度第 2 回の協議会で、学校担当者が感じている環境学習の実施に際しての課題や要望についての実態調査の提案があったことをふまえて、尼崎市内外の学校とかかわりのある環境学習の実践者である以下 3 つの機関を対象に、環境学習に関する現状・課題・ニーズについてヒアリングした。

対象者	主な活動	実施日
NPO 法人あまがさき環境オープンカレッジ	生物多様性や廃棄物の抑制など幅広い分野で、様々な年齢層を対象とした環境学習のイベント主催や、学習のサポート　など	2024 年 10 月 4 日（金）
尼崎の森中央緑地パークセンター	小学生を対象とした生物多様性への理解を深める環境学習の実施　など	今後実施予定
NPO 法人 人と自然とまちづくりと	尼崎運河での環境学習の実施　など	今後実施予定

2）調査結果

（1）NPO 法人あまがさき環境オープンカレッジへのヒアリング結果

①ヒアリング内容

尼崎市内の学校の環境学習の現状や、森構想エリアにおいて環境学習を実施する際の課題、今後の森構想エリアにおける環境学習の展開についてヒアリングを行った。

②ヒアリング結果

ヒアリングから、尼崎市内の学校の環境学習の現状や、森構想エリアにおいて環境学習を実施する際の課題、今後の森構想エリアにおける環境学習の展開について把握した。

＜尼崎市内の学校の環境学習の現状＞

・尼崎２１世紀の森構想エリア（以下「森構想エリア」と称する）で、学校が環境学習に訪れる場所は、尼崎の森中央緑地や尼崎運河の２箇所がメインとなっている。

・小学校では、生活の身近なことを学習する際に、地域と関わる環境学習を実施している。中学校では、地域と関わる学習が少ないため、現在、尼崎市が間に入り地域との連携方策について検討している。高校では、探求学習やキャリア教育などで地元企業と連携した学習を実施している。

＜森構想エリアにおいて環境学習を実施する際の課題やニーズ＞

・学校は、森構想エリアで環境学習することに興味や関心はあるが、交通の便が悪く、バス代など予算の面で実施が難しい。バス代の一部補助があると、学校の先生が校外学習を実施するハードルが下がる。バス代や時間の有効活用の面から、同日に複数個所で環境学習のプログラムを実施することや、環境学習と遠足など環境学習以外のプログラムを組み合わせた行程が望まれる。

・多くの校長先生が、学年ごとに地域の特徴を活かした学習プログラムがあることを望んでいる。

＜今後の森構想エリアにおける環境学習の展開（地域の特徴を活かした探求型学習の展開に向けて）＞

・今後の環境学習の進め方については、「子どもたちが自発的にテーマを見つける」探求学習が求められており、文部科学省においてもその必要性が示されている。

・尼崎には様々なフィールドで多様な人が活動をしており、学習に活用できる地域資源が多く存在している。これらの地域資源を活用することで、探求学習を効果的に展開できると考えられる。

・例えば、尼崎の森中央緑地や海、運河などへ行き、自分で見て疑問などを感じてもらい、学校に帰ってから自分で調べるというように、自ら関心を持ち、主体的に行動していけるようなプログラムの展開などが考えられる。